

検察実務と刑事手続の基礎

唐木智規・煙山 明 著

担当編集から

「検察（検察官）」に対しては、とくくネガティブなイメージが持たれがちです。それは、検察（検察官）の実際の仕事が詳しく知られていないからかもしれません。

本書は、検察が、何を考え・どのように仕事を進めているのかについて、現役の検察官が解説した書籍です。架空の強盗致傷事件をもとに、若手検事が捜査や公判のときにどう考え・悩み・動くのかを追体験できます。もともとは、法学教室に掲載されていた連載ですので、ストーリーに沿って、刑事訴訟手続の基礎についても丁寧に解説されています。ストーリーを追いかけることで、検察の考え方や動き方だけでなく、刑事訴訟手続の基礎も身に付く内容となっています。

現役の検察官が、ここまで詳らかにその考え方を解説した書籍は、他にはありません。検察志望でなくとも法曹を目指す皆さんは、本書に目を通していただくと、検察（検察官）のイメージが変わりますし、刑事事件の解像度もグッとあがると思います。是非、お手に取ってみてください。（鈴木）

Point

補章として、法改正についての解説を追加しています。

- 第1章 捜査手続その1——事件受理から勾留状の執行まで
- 第2章 捜査手続その2——捜査の遂行①
- 第3章 捜査手続その3——捜査の遂行②
- 第4章 捜査手続その4——終局処分（起訴不起訴の判断）
- 第5章 公判手続その1——公判準備①

- 第6章 公判手続その2——公判準備②
- 第7章 公判手続その3——公判準備③及び公判期日①
- 第8章 公判手続その4——公判期日②
- 補章 近時の刑事訴訟法等の改正について

刑事手続の基礎

検察実務と

現場ではどう考え、
どう動くのか。
検察実務を知るための1冊。

唐木智規・煙山明
Kazuki Tomonori, Kenjiyama Akira

レベル	用途	対象
初級	学習 実務	LS 法曹

2025年11月発売／178頁／定価2970円（税込）
A5判／並製

詳細を見る



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

